

なごみ管弦楽団 第11回定期演奏会

2017年12月24日(日)

13:30開演(13:00開場)

川崎市多摩市民館ホール

ブラームス

交響曲第2番 二長調

チャイコフスキイ

バレエ音楽「くるみ割り人形」

全曲より抜粋(語りつき)

語り 藤本しの

指揮 柳橋 明徳

入場無料・全席自由

交通のご案内

小田急線 向ヶ丘遊園駅

北口より徒歩5分

または

JR南武線・小田急線

登戸駅より徒歩12分

後援 「音楽のまち・かわさき」推進協議会

お問合せ 080-6596-7478(伊藤)

nagomioche@hotmail.co.jp

<http://orchestra.musicinfo.co.jp/~nagomi>



(このホームページは、クラシック音楽情報センター(<http://www.musicinfo.com>)より、サーバーの無償使用の提供を受けています)

なごみ管弦楽団 第11回定期演奏会

ご挨拶

「名曲を楽しく、なごやかに」なごみ管弦楽団は、おかげさまで今年結成11年目となりました。第11回定期演奏会では、クリスマスイブの午後にお集まりいただく皆様に、感謝の気持ちをお届けするプログラムを選びました。

『ブラームス交響曲第2番』は、その芸術に人間の孤独と真実を厳しく追求するブラームスの交響曲の中にあって、ぬくもりや華やぎを感じさせる作品とも言われます。それはちょうど、日常の仕事に忙殺される私たちが、年末、仲間や家族と集まってごちそうを囲み乾杯を交わす様に似ているかもしれません。

そして『くるみ割り人形』。奇しくもブラームスの愛した女性と同じ名前を持つ少女が体験する、クリスマスの一夜の楽しい夢と冒険の世界。かつてなごみ管弦楽団にて演奏した『白鳥の湖』『カルメン』にて、大好評をいただいた藤本しのさんの素敵なお語りとともに皆様をご案内いたします。年も押し迫った日曜の午後、どうか私たちと温かなひとときをお過ごしください。

語り 藤本 しの Shino FUJIMOTO



立教大学文学部卒業。英・仏・独語の通訳として、ダン・タイ・ソン、ヒラリー・ハーン、リチャード・ストルツマン、ゲイリー・カー氏等、著名なクラシック音楽演奏家や指揮者、オーケストラのアテンドをする傍ら、各種イベントの通訳・司会を務める。

また、「現代の語り部」として、語り、ナレーション、芝居・映像の分野でも研鑽を積み、2002年7月には「第18回<東京の夏音楽祭>」に参加して、自作の物語をオリジナル音楽と水彩画・版画付きで紹介。クラシック音楽ナレーション作品には、オーケストラと共に演の「ピーターと狼」「動物の謝肉祭」「カルメン」「シェラザード」「くるみ割り人形」「展覧会の絵」「魔笛」「フィガロの結婚」「白鳥の湖」他多数がある。

2003年より演劇ユニット「芝居三昧」を立ち上げ、人生に何より必要なもの(愛と笑い)をテーマに、定期的にプロデュース公演を行い、主役を務めている。

指揮 柳橋 明徳 Akinori YANAGIBASHI



1971年札幌市生まれ。東洋大学経営学部卒業。週末は音楽家。都立日野高校在学中に学生指揮者として東京都高等学校吹奏楽コンクールにて金賞受賞。2005年富士山河口湖音楽祭「佐渡裕の公開指揮者セミナー」受講生に選出され指導を受ける。なごみ管弦楽団で2006年の創立以来指揮者を務める。その他「多摩南吹奏楽団」指揮者(1991~)、「コバケンとその仲間たちオーケストラ」フルート奏者(2007~)、合唱団「オペリンナー・カントライ」メンバー(2010~)として活動中。

管弦楽 なごみ管弦楽団



「なごやかな雰囲気」を目指し、2006年に結成。活動方針は「名曲をたのしく」演奏すること。

合奏初心者やブランクのある人、団を掛け持ちはいる人にも、少ない負担で楽しめるオケでありたいと願っている。

年1回の定期演奏会を目標に、隔週日曜日の午前中に活動している。現在、10代から60代まで幅広い年齢層の団員が在籍する。